

平成29年11月24日

あやべ市民新聞(4面)に掲載されました

日東精工 第3四半期決算短信発表

増収増益で堅調な伸び

東証一部上場で井倉町に本社を置く日東精工(材木正己社長)はこのほど、平成29年12月期第3四半期短期決算(連結)を発表。売上高は219億6900万円(前年同期比18・4%増)で、営業利益は19億8400万円(同1・6%増)、経常利益は20億9900万円(同3・6%増)、四半期純利益は12億3100万円(同4・7%増)と、堅調な伸びを見せた。事業別の概況は次の通り。

【ファスナー】国内億4800万円(同19

のカメラ業界の需要は引き続き低迷する一方で、ゲーム機の需要増加で主力の精密ねじの市況が好調に推移。拡大が見込まれる自動車のEV関連市場への販売促進にも取り組み、売上高は158億6300万円(同31・4%増)、営業利益は8億3800万円(同43・4%増)となった。

【産機】国内や米国・中国の自動車関連・住宅関連業界を中心に、設備市況が好調に推移。売上高は46億1200万円(同7・6%減)、営業利益は10

億4800万円(同19・5%減)だった。

【制御】流量計は薬品や食品業界で需要が増加。一方で造船業界では厳しい市況が続いた。売上高は14億9200万円(同0・3%減)、営業利益は9800万円(同46・0%増)だった。

同社は通期の連結業績予想を8月発表分から変更せず、売上高

300億円▽営業利益

27億円▽経常利益

28億3千万円▽親会社

株主に帰属する当期純

利益16億円▽1株当

たりの当期純利益42

円34銭として

いる。